

はこだて

H A K O D A T E

# 市民憲章だより

発行  
平成28年3月31日  
函館市民憲章推進協議会

No. 35



## ※ 函館市民憲章 ※

(前 文)

わたくしたちは、北海道の文化発祥の地、函館に住む市民です。

山と海にかこまれた美しい自然を誇り、すぐれた市民性をはぐくんできた函館を、いっそう住みよい都市に発展させるため、わたくしたち市民とまちの理想像をかけた、ここに市民憲章を定めます。

(本 文)

- 1 真心あふれる函館市民、あたたかいまち
- 1 健康で働く函館市民、にぎわうまち
- 1 文化を誇る函館市民、はぐくむまち
- 1 自然を生かす函館市民、きれいなまち
- 1 郷土を愛する函館市民、のびゆくまち

## 事務局からのお知らせ

函館市民憲章推進協議会は、函館市民憲章の普及啓発を行う推進母体として、昭和53年6月12日に設立しましたが、平成28年度以降は、函館市が直接普及啓発活動を行うこととなるため、当協議会は平成27年度末をもって事業活動を終了することとなりました。

このため、はこだて市民憲章だよりも今回をもって最終号となりますが、本号では、年間の事業報告に加え、協議会のこれまでの取り組みなどについても紹介してまいりたいと思います。



# 私たちの市民憲章

函館市民憲章推進協議会

会長 金山 正 智

陽ざしがすっかり春のものとなりました。この時期は誰もが新しい飛躍へ期待を込めるのですが、とりわけ今年は、北海道新幹線事業開始を間近に控えて心浮き立つものとなっております。

函館市が市民憲章を制定したのは昭和52年でありますが、その機運が生じたのは昭和45年ころです。当時は、国が新しい飛躍を目指し、多くの市町村もまた、まちの未来像を求め、市民憲章の策定作業に意欲をもって取り組んでいた時期でありました。それから40年近い年月を経た現在、全国では90パーセントに近い市町村が市民・町民憲章を制定しております。

ただ、今日の市民憲章の実相を見ますと、権威ある「憲章」として大切に蔵の奥に収められてはおりますが、普段はあまり表には取り出さない、虫干しもままならない状況にあるように思われます。旅先でそのまちの市民憲章に出会うことは極めてまれですし、市民憲章を推進する全国組織も衰微の一途をたどっています。市民憲章は制定作業そのものこそ意義があったという意見も飛び出す有様です。

しかし、函館のまちは少し違っておりまして、子細に見ると、うれしいことにいろいろな施設の壁や電車の中など、市内のあちこちで市民憲章を目にすることができま

す。また、町会での行事や各種の催し物の中でも市民憲章が唱和される場面が設定されています。日常の生活のそばで市民憲章がこれほど顔を出すまちは、近頃全国的には珍しいといわれています。

函館市民憲章が市民と比較的近いところにある理由の一つめとしては、まず、「はこだて賛歌」が市民憲章のそばにいつもいてくれていることを挙げようと思います。「はこだて賛歌」は、市民の歌として市民だれもが折に触れ耳にし、様々な場面で口ずさむ歌です。修学旅行のバスの中で「はこだて賛歌」を合唱して、ガイドさんから「いい歌ですね」と褒められた記憶を持つ人も多いと思います。うれしいことに、市民が等しく声を揃えて歌える歌を持つ函館をうらやましいと感じておられる方が全国に多いのです。

前川和吉氏の詞、広瀬量平氏の曲は、函館への愛情、このまちに住む喜びを具体的にわかりやすく歌い上げておりますが、それはまた市民憲章に盛り込まれている精神と深くつながっています。市民憲章推進活動が「はこだて賛歌」と常に一体となって進めることができたことは、函館のまちにとって大変ありがたいことであると思えます。

二つめは、憲章自体の良さ、とりわけ、文言の語り口の良さにあるうと思われま

全国の憲章のほとんどは「……しましう」または「……します」という形で終わっていますが、函館市民憲章は「真心あふれる函館市民、あたたかいまち」と、どの項目も二つの体言で言い終えています。一風変わった、全国ではただ一つの珍しい表現ですが、この簡潔な語り口が、函館市民憲章を唱和しやすいもの、力強いものとしております。また、体言で終わることで余韻が残り、憲章の内容に奥行きと落ち着きそして決意の深さを与えてくれます。

三つめ、というより全体を支える街の姿勢ですが、市民の皆さんが市民憲章に好意と愛着を感じていただいていることです。公園や街角に建つ立派な市民憲章碑は、市民憲章に思いを寄せておられる民間の団体や個人によって建立されていますし、啓発活動の「凧揚げ大会」には「はこだて日本の凧の会」の皆さんが憲章の文言を図案化するなど、率先してお力を貸してくださいました。また、町会の皆さんの市民憲章を大切にしようとする思いの深さにはいつも感銘を受けます。故郷の発展を願い、函館市民憲章をわがものと感じ、身近なものとするこのまちの心は、これからも私どもの宝とし、誇りとして伝わっていくものと思えます。

さて、函館市民憲章を広め、実践していく活動は、今年度から形を改め、市役所市民部が中心となり、市の事業として進めていただくことになりました。函館市民憲章推進協議会として、長い間市民の皆様からいただきましたご支援に心から感謝申し上げます。同時に、今後とも、市民憲章推進に関わる市民の皆様の変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

## 市民憲章リーフレット・手札カードをご利用ください!!

「市民憲章」と「はこだて賛歌」をPRするリーフレットや手札カードの配付、また、「はこだて賛歌」のCD貸出は、今後、市民・男女共同参画課（☎21-3139）で行います。

会議や集会の際には是非ご利用ください。



リーフレットと手札カード

# 地域との結びつきの強さ

市立  
銭亀沢  
中学校

去る二月二十四日、銭亀沢中学校において、第八回目となる市民憲章実践委嘱校活動発表会が開催されました。

銭亀沢地区は、地域住民と学校との繋がりが、市内でも非常に強い地域として知られており、今回は、長年続いている地域活動などについて、改めて市民憲章との関連を意識しながら取り組んだ内容を、全校生徒が参加のもと生徒会が中心となり発表されました。

## 銭亀沢中学校活動発表内容

- ◆ 希望ヶ丘学園訪問
- ◆ 銭子連屋内運動会
- ◆ 銭亀ぴっかぴか作戦
- ◆ 地元産の鮭を使った調理実習
- ◆ セーフティドライバーズ作戦



発表では、地域の子どもから大人まで一堂に会し様々な競技を行う「銭子連屋内運動会」という三十年以上も続いている行事や、生徒の多くが自転車通学していることを契機に始まった「セーフティドライバーズ作戦」などの取り組みが紹介されるとともに、新たな取り組みとして、ボランティアを募り実施した地域内清掃活動（銭亀ぴっかぴか作戦）などについて説明がありました。

## 会場に展示された資料



特に「銭亀ぴっかぴか作戦」の発表では、今後は、町会や小学校も巻き込んだ地域全体への取り組みが必要との感想があげられており、銭亀沢地区の継続事業として、二十年、三十年と続いていくって欲しいと感じられるものでした。

函館市民憲章は、「よりよい明日の函館」をつくるために昭和五十二年に制定されましたが、発表全体を通して、銭亀沢中学校は地域との結びつきが非常に強いことが改めて感じられ、また、脈々と受け継がれている各種活動は、自分たちの住んでいる街をよりよくしていくという、市民憲章の精神に、自然と合致している素晴らしい内容でした。



最後には、参加者全員で、「市民憲章唱和」および「はこだて賛歌」の合唱を行い、大変有意義な発表会になったことと思います。

銭亀沢中学校の生徒の皆さんはじめ諸先生方、本当にありがとうございました。これからも、市民憲章の精神を心に置き、地域に密着した様々な活動を続けていくって欲しいと思います。

# 市民憲章

# スタンプラリー



市内には、函館市が設置したもののほか企業や団体・個人の方々から寄贈を受けた様々なデザインの「市民憲章の碑」が10箇所にも設置されております。

去る10月17日、函館市民憲章を子ども達に知ってもらおうと、そのうち大門・駅前地区にある「市民憲章の碑」を探すスタンプラリーを開催しました。

3回目となる今年度は、絶好の秋晴れの中、総勢約90名の参加者がスタート合図とともに、一斉にラリーポイントを目指し駆け出し、全員無事にゴールすることができました。

参加者からは、「ラリーをきっかけに家族で市内探索を楽しめた」、「他の碑にも興味が出てきた」などの感想が聞かれ、市民憲章やまちを知る良い機会になったことと思います。



- (株) 石田 文具
- (株) 今井 工務店
- (株) 岩倉建設(株)函館営業所
- (株) エスイーシー
- 一般財団法人 小笠原アカデミー
- (株) キタワラ 教育振興財団
- (有) 厚生会 売店
- (株) 五島 軒
- (株) 五稜郭タワー
- (株) 三和 防災
- (株) 菅原 組
- (株) 高木 組
- (株) 小さな親切運動函館支部
- (株) 富岡電気工事
- (株) 富岡電気工事
- (株) 長門出版
- (株) 新建設
- 日本ボーイスカウト
- 北海道連盟
- 函館地区委員会
- 学校法人野又学園
- 函館魚市場
- 函館空港ビルデング
- 社会福祉法人 函館厚生院
- (株) 函館国際ホテル
- 函館私学振興協議会
- 函館市亀田商工会
- 函館市交通安全指導員会
- 社会福祉法人
- 函館市社会福祉協議会
- 一般社団法人 函館市身体障害者
- 特定非営利活動法人 函館市青年
- 函館市町会連合会
- 函館市幼稚園・こども園協会
- 函館市老人クラブ連合会
- 一般社団法人 函館青年会議所
- 函館大学附属柏稜高等学校
- 函館大学付属有斗高等学校
- 函館短期大学
- 函館短期大学付設
- 函館地区区保護司会
- 函館中央交通安全協会
- 函館トヨペット
- 函館西交通安全協会
- 函館西防犯協会
- 函館の街をきれいにする
- 市民運動協議会
- 一般社団法人 函館文化会
- 函館 保育 協会
- 北栄測量設計
- 北海道ガス(株)函館支店
- 北海道高等学校
- PTA連合会道南支部
- 北海道乳業
- 前側石油
- 丸栄堀川紙器
- 丸丸上青果
- (株) 山カ柏葉運輸商会
- (株) 岩井悦子
- (株) 岡田宏平
- (株) 岡田祐子
- (株) 金山正智
- (株) 佐々木文子
- (株) 戸沼平八
- (株) 中岡育恵
- (株) 野又
- (株) 安島

(順不同、敬称略)

# ご賛助 ありがとうございます ございました



厳しい経済状況が続く折にもかわらず、平成二十七年におきましても当協議会の事業運営資金として、次の企業・団体・個人の皆様からたくさんのお礼申し上げます。心から厚くお礼申し上げます。  
また、長年にわたるご協力ありがとうございました。

# 函館市民憲章推進協議会の取組

## 1 函館市民憲章制定までの経過

- 昭和47年 1月 ～ 函館市青少年問題協議会が市長に対し、市民憲章制定の要望
- 昭和48年度 ～ 市民アンケートの結果、市民憲章制定への賛成が9割を超す。
- 昭和51年 3月 ～ 函館市民憲章制定有志の集い  
(後に「函館市民憲章制定発起人会」へ発展)
- 昭和51年 5月 ～ 函館市民憲章制定発起人会が市長に対し、官制ではなく市民の自発的創意な「函館市民憲章」制定を要請
- 昭和51年 7月 ～ 函館市民憲章制定委員会発足 (各種団体の市民代表50名)
- 昭和51年10月 ～ 函館市民憲章制定委員会が「函館市民憲章」案を作成し、市長へ答申
- 昭和52年 3月 ～ 市議会へ報告
- 昭和52年 5月 3日 ～ 「函館市民憲章」制定・告示
- 昭和53年 6月 ～ 市民憲章の普及・啓発、実践活動を促していくために、「函館市民憲章推進協議会」を設立。

## 2 函館市民憲章推進協議会が行ってきた主な活動

### たこあげ大会



(H元～24年度まで開催)

### 憲章パネルの掲示



(H25年度から市電車内に掲示中)

### 周年記念事業の実施



昭和62年11月  
制定10周年記念式典 川崎ヤエ氏記念講演の様子

### 市民憲章運動推進 全国大会の開催



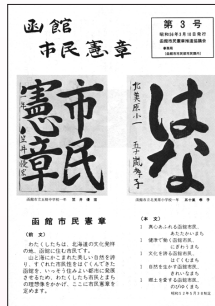
昭和63年9月  
市民憲章運動推進第23回全国大会の様子

# バックナンバー

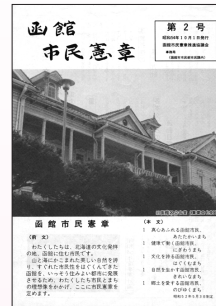
昭和54年の創刊以来、38年にわたり発行してまいりました。閲覧したいナンバーがある場合、市民・男女共同参画課(☎21-3139)までご一報ください。



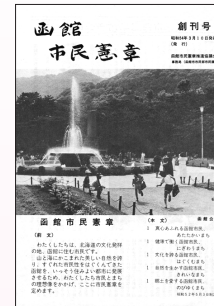
No.4



No.3



No.2



創刊号



No.10



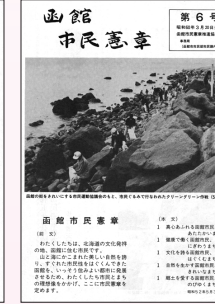
No.9



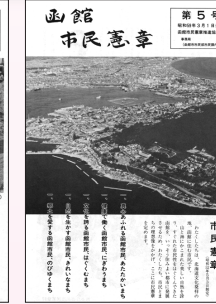
No.8



No.7



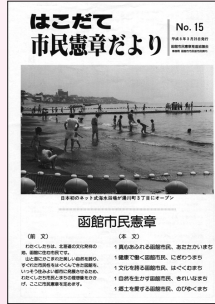
No.6



No.5



No.16



No.15



No.14



No.13



No.12



No.11



No.22



No.21



No.20



No.19



No.18



No.17



No.28



No.27



No.26



No.25



No.24



No.23



No.34



No.33



No.32



No.31



No.30



No.29